

第5学年 外国語活動指導案

日置市立伊集院小学校
平成21年 6月25日(木) 5校時
4組 男子15名 女子17名 計32名
指導者 長谷川 仁

- 1 単元名「数で遊ぼう」
- 2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

本学級の児童は、5年生になって「英語ノート」を使った学習を始めている。この英語ノートを使った授業を通して、あいさつや自己紹介の表現方法を知り、簡単な単語を使ってそれらに慣れ親しんできている。そして、ゲームやインタビュー活動を楽しみながらALTやAETと英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする姿が見られるようになってきている。さらには、ALTや外国の方とも意識をせずに英語を使ってコミュニケーションを図りたいという思いや願いも高まってきている。

本単元では、これからの活動の中で繰り返し使われる「数」の入門期として1～20までの数を取り上げる。ただ単に数を数えたり、記憶させたりするのではなく、歌や今まで体験した事のあるようなゲームを通して、その中で必然的に出てきた数に触れながら少しずつ使える範囲を広げさせるようにする。

さらに、本単元では、言葉だけではなく、指を使った数え方や「正」の漢字を使った数の記録の仕方、世界の数を使ったゲームにも触れさせ、日本の遊びとの違いや面白さに気付かせるようにしたい。また、グループでのゲームを多く取り入れることでコミュニケーションを図る楽しさを味わわせたい。

このような外国語活動を通して、いろいろな数の表現に慣れ親しむとともにALTや外国の人とも楽しく英語を聞いたり話したりして、次の学習へ意欲をもって取り組むことができると考える。

(2) 児童の実態

(対象者 4組児童31名 数値は延べ人数で、結果は主なもののみ表示)

① 英語への興味・関心

ア 外国語活動は好きか ・好き(7) ・どちらかといえば好き(19)
・どちらかといえばきらい(5) ・きらい(0)

【好きな理由】

- ・英語を使ってゲームをすることが好き(19)
- ・外国の人と英語で話をしたり遊んだりすることが好き(6)
- ・英語を使って会話をすることが好き(1)

【きらいな理由】

- ・うまく話せないから(3) ・単語を覚えるのが難しいから(2)

イ 英語は好きか。 ・好き(8) ・どちらかといえば好き(19)

②活動への興味・関心

ア 外国語活動以外でも「英語」に触れる機会はあるか。

ある (15) ない (16)

【どんなとき】

・習い事 (7) ・家庭での会話 (1) ・テレビやCD (7)

イ 次の数を英語で言えますか。(自信をもって言えると答えた児童の数)

・ 1～10 (31)

・ 11～20 (19)

・ 20～100 (5)

ウ 将来、英語を学ぶことは大切だと思うか。

思う (30) 思わない (1)

【大切だと思う理由】(複数回答)

・将来使うかもしれないから。(17)

・外国に行った時に困るから。(11)

・外国の人とも話せる。(8)

・英語が分かると楽しい。(1)

【大切だと思わない理由】

・普段使うことはないから。(1)

①の結果より本学級の児童は、外国語活動におおむね好意的であることが分かる。その理由として、これまでの外国語活動で楽しく英語に慣れ親しむゲームやコミュニケーションを図るための活動をしてきているからであると思われる。その意欲を継続させるために本単元でもゲーム的活動を取り入れる場面を多く設定していきたい。

外国語活動がどちらかという嫌いと言った児童が5名いたが、うまく話したり、単語を覚えたりしないといけないと感じているようである。ゲームや活動の中でコミュニケーションを図ることの楽しさを味わわせたい。

②の結果より英語を習っている児童が7人いることが分かった。また、「字幕版の外国の英語を見る方が、英語を感じられるから好き」や「親が洋楽をよく聞くので一緒に聞いている」等、身近に英語を感じている児童が多いことも分かった。

「数」に関する英語は、1から10までは、全員が慣れ親しんでいるのに対して11～20になると4割の児童が難しいと感じるようだ。さらに20以上になると8割の児童が難しいと感じている。

そこで、本単元では、歌やゲーム等により、1～20までの数に慣れ親しませ、次時からのスキット作りに積極的に取り組めるようにしたい。

(3) 指導上の留意点

上記実態をふまえ、指導にあたっては、次のことを留意したい。

第1時では、主に11～20までの数に慣れ親しむことを目標としている。そこで、「数」を聞いたり、言ったりする必要性のある場面を設定し、「How many ～ ?」を意識させるようにする。また、電子黒板を活用して、発音を繰り返すとともに音声だけでなく視覚的にもとらえさせ、動作化をしながら楽しく「数」に触れさせるようにしていきたい。

第2時では、電子黒板を活用して英語以外の言語の「数」の数え方にも触れさせるようにする。ドットと数字のたくさん書いてあるプリントを準備し、数字を聞いて絵をかいていくゲームや数字を使ったビンゴなどのゲームを取り入れることで英語に対して苦手意識をもっている児童もスムーズに活動に入れるものと考えている。

また、「How many (物の名前) do you want?」「I want (数) (物の名前), please.」のやりとりも繰り返しチャンツで行うことで慣れさせておくようにする。

第3時では、フルーツショップという場面設定を行い、店員とお客の立場になり、「いくつ必要ですか。」「いくつください。」のやりとりを体験させてみる。どちらの立場も体験できるように交代でスキットを行わせる。本単元のまとめとなる時間であることから、店員とお客のやりとりを通して、あいさつやアイコンタクト、仕表情でのコミュニケーションを図る楽しさを十分に味わわせるようにしていきたい。

3 目標

- (1) 世界の数の数え方や遊びに興味を持ち、日本語との違いや面白さに気付こうとする。
- (2) 1～20までの数を使ってゲームをし、たくさんの友だちと積極的にコミュニケーションを図る楽しさを味わう。

4 指導計画 (全3時間)

時間	主 題	主 な 活 動	使用する表現・単語等
1	How many?の表現に触れ、1～20までの数に慣れ親しむ。	・「How many ～ ?」の表現を知り、使ってみる。 ・数を使った歌やゲームをする。(電子黒板の活用)	How many ～ ? One,two,three,four,five,six,seven,eight,nine,ten,eleven,~,twenty. Rock, scissors, paper. One, two, three.
2	世界の様々な数え方やジェスチャーに触れ、英語の1～20までの数に慣れ親しむ。	・世界の数の数え方を知る。(電子黒板の活用) ・数を使ったゲームをする。(線結び、数字ピラミッド)	・ How many ○○ do you want? ・ I want (数)(物の名前).
3	買い物場面を通して数を尋ねたり、数を答えた	・店員と客になって、「いくつ必要ですか?」「何個で	・ Here you are. ・ Thank you.

りする。	す。」のやりとりをする。	・ You're welcome.
------	--------------	-------------------

5 本時 (1 / 3)

(1) 目標

- “How many?” の表現に触れたり、1～20までの数に慣れ親しんだりしながら、友だちと歌やゲームを楽しむ。

(2) 本時の展開に当たって

- 「意欲をもつ」過程では、あいさつを全体でした後、個人にも問いかけるようにする。英語の歌を歌うことで和やかな雰囲気を出すようにする。

- 「つかむ」過程では、数を使ったじゃんけんゲームを通して、本時のめあてをつかませるとともに活動への意欲を高めるようにする。

1～10までの数を使ったペアでのじゃんけんゲームでは、より多くの友だちと関わることやあいさつなどにも意識させて活動を行わせたい。

次にグループでジャンケンゲームをすることで10を超える数が出てきて困る状況を設定し、11～20までの数に触れる「アクティビティ①」へもっていくようにする。



- 「挑戦する」過程では、「アクティビティ①」として11以上の数に慣れ親しませるためにチャンツをしたり、歌を歌ったりして楽しく活動できるようにする。

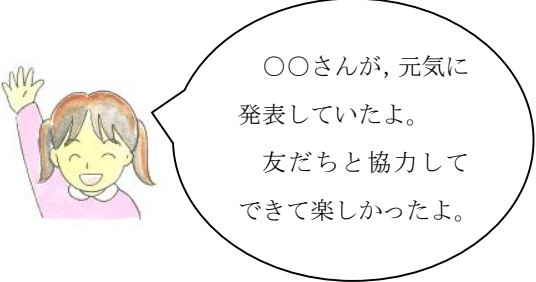
「アクティビティ②」では、11～20までの数を使ったグループゲームを通してより多くの友だちと関わることやあいさつなどにも意識させて活動を行わせたい。

- 「振り返る」過程では、本時の活動を振り返り、友だちとの活動や慣れ親しんだ表現や楽しかったことなどを発表させることでまとめを行うようにする。

(3) 実際

過程	時間	主な活動内容	教師の具体的な働きかけ
意欲をもつ	3	1 はじめのあいさつをする。  2 「How are you?」を歌い楽しい雰囲気をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業に必要な道具は、引き出しの中に入れさせる。 ○ 個人にも問いかける。 ○ 動作をつけることで場の雰囲気を和やかにする。

つかむ	10	<p>3 今日のめあてをつかむ。</p> <p>(1) ジャンケンゲームのルールを知る。</p> <p>(2) ペアでスキットを試してみる。</p> <div data-bbox="432 331 788 524" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Hello, nice to meet you. Rock,scissors,paper How many fingers? Bye.see you.</p> </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちとゲームをする際には、あいさつをしっかりとる。目と目を見て行うなど告げておく。 ○ ゲームの前に電子黒板を使って正しいジャンケンの発音のチャンツも行う。 ○ たくさんの友だちと交流できた児童を称賛する。
つかむ		<p>(3) グループでジャンケンゲームを行う。</p>  <div data-bbox="517 667 954 815" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>・数が多くなるとたし算が難しくなあ ・10をこえる数だとすぐに、英語が出てこないなあ。</p> </div> <p>(4) 今日のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="376 869 954 936" style="border: 3px double black; padding: 5px;"> <p>英語で数を聞いたり、友達に伝えたりしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ うまくいかずに困っている児童にどのような所が困ったか答えさせる。 ○ できるだけ児童の言葉でめあてをつかませ、確認させる。
挑戦する	25	<p>4 アクティビティ①を行う。</p> <p>(1) 11～20までの数でチャンツをする。</p> <p>(2) ラインゲームをする。</p> <p>(3) Twenty steps を歌う。</p> <div data-bbox="376 1187 1023 1406" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>(Twenty steps)</p> <p>Eleven,twelve,thirteen,fourteen,fifteen,sixteen,.seventeen Eleven,twelve,thirteen,fourteen,fifteen,sixteen,.seventeen Eighteen,nineteen,twenty. Eighteen,nineteen,twenty. Eleven,twelve,thirteen,fourteen,fifteen,sixteen,.seventeen</p> </div> <p>5 アクティビティ②を行う。</p> <p>・4人グループで「How many fingers?」に挑戦する。</p> <div data-bbox="437 1547 791 1704" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Hello, nice to meet you. How many fingers? (全員で数を確認する)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子黒板を活用して発音を確認する。 ○ 聞き取り中心のチャンツから始めるようにする。 ○ ボランティアを募り、ゲームのルールを説明する。 ○ 振り付けをしながら歌ったり、スピードを速くして歌ったりして変化をもたせる。 ○ 速く答えることを目的にしていなことを強調しておく。 ○ あいさつや表情を意識してゲームができるようにする。 ○ 席を移動して4人グループを作らせて、協力して数を数えるように声をかける。

振り返る	7	<p>6 今日の活動を振り返る。</p>  <p>〇〇さんが、元気に発表していたよ。 友だちと協力してできて楽しかったよ。</p> <p>7 終わりのあいさつをする。</p>	<p>○ 楽しかったことや、表現に慣れ親しんだことなど本時の感想を交流させることで、これからの外国語活動への意欲につなげるようにする。</p> <p>○ 次時の活動に触れて終わる。</p>
------	---	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

(4) 評価

- ・ 20までの数の表現を使って、たくさんの友達とコミュニケーションを楽しもうとしていたか。